

地域医療課題解決演習

| | | | |
|--------------|---------------------------------------------------|-----|--------------|
| 責任者・コーディネーター | 佐藤洋一 全学教育推進機構長 | | |
| 担当講座・学科（分野） | 全学教育推進機構、 医学教育学講座（医学教育学分野・地域医療学分野）、 各学部担当講座 | | |
| 担 当 教 員 | 佐藤洋一全学教育推進機構長 | | |
| 対象学年 | 全学年（全学部） | 期 間 | 通期 |
| 区 分 | 演習 | 単位数 | 0.5単位 |

■ 学習方針（演習概要等）

医療人として社会から求められているコミュニケーション力、課題解決力を育成する科目。本学が拠点とする矢巾地区の地域医療課題について学び、多分野の人材による協同作業によりグループとして当該医療課題に対する考えや解決策、今後の各々の役割をまとめる。

■ 教育成果（アウトカム）

地域医療課題について学び、学部・学年横断のグループで解決策を検討することにより、地域社会における医療課題現状を理解し医療人としての関わりを自覚するとともに、異なる専門領域の人々を含め、他者と知見を尊重し合いチームで協働する力を身につける。

（ディプロマ・ポリシー）

医学部：1, 3, 4, 5

歯学部：1, 4, 5, 6

薬学部：1, 3, 4, 5, 6

■ 到達目標（SBOs）

1. 医療に関する地域社会の現状と課題を学び検討することにより、地域医療課題とその解決策について考え、政策面での提案のほか医療人である自らの役目を説明できるようになる。
2. グループワークやフィールドワークで多様な立場の人と意見交換することにより、医療人に求められる高いコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を身につける。
3. 多分野の知見をあわせ、協働して課題解決へ向かう作業により、多職種連携の重要性を理解し多職種を尊敬する謙虚さ、チームでの協働に必要な協調性を身につける。

■ 成績評価方法

演習態度・ポートフォリオを総合的に評価する。

■ 事前学修時間・内容

各回、日程連絡時に指定する事前課題について、図書館等を利用して調べておくこと。事前学修は各回1時間以上を要する。

■ 特記事項・その他

開催日：別途指定する

会 場：矢巾キャンパス・矢巾町役場等

対 象：全学年（全学部）

<フィードバックについて>

提出されたポートフォリオは採点后、コメントを付けて返却する。

■ カリキュラム（授業計画）

| 月日 | 時限 | 内容／到達目標 | 担当教員 | 会場 |
|--------|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|-----------------|
| 5-6月 | (未定) | オリエンテーションと課題提示 1. 科目についての全体像を理解し説明できる。 2. 地域における医療課題を理解し説明できる。 3. 国策と地域政策の関連を理解し説明できる。 | 矢巾町職員、 地域医学分野 | 矢巾キャンパス |
| 7-8月 | (未定) | グループワークでの検討(またはフィールドワーク) 1. 国策・地域政策の関連から、当該課題の要因・背景を説明できる。 2. グループ内検討により、医療人として関わり方の相違点・共通点を確認し説明できる。 3. 保健所等でのフィールドワークを行うことにより、実際の仕組みや課題背景等を説明できる。 | 未定 | 矢巾キャンパス、 矢巾町 |
| 8-9月 | (未定) | グループワークでの検討(またはフィールドワーク) 1. 国策・地域政策の関連から、当該課題の要因・背景を説明できる。 2. グループ内検討により、医療人として関わり方の相違点・共通点を確認し説明できる。 3. 保健所等でのフィールドワークを行うことにより、実際の仕組みや課題背景等を説明できる。 | 未定 | 矢巾キャンパス、 矢巾町 |
| 10-11月 | (未定) | グループワーク・プレゼンテーション作成 1. グループで課題解決提案のプレゼンテーションプランを作成することにより、チームでの合意形成における注意点を説明できる。 | 未定 | 矢巾キャンパス |
| 12月 | (未定) | 検討発表会・まとめ 1. プレゼンテーションに必要な点を、技術・態度両面で説明できる。 2. 多様な視点を理解し、説明できる。 3. 矢巾町への政策面での提案内容、及び医療人である自らの役目を説明できるようになる | 矢巾町職員、 医学教育学分野 | 矢巾キャンパス |